

### 今後の保育所の整備は

## 4月の待機児ゼロを基本に

米澤修司 議員 (民主党)



三山木保育所の建設が始まった工事現場

今後の児童数の見込みと保育所、幼稚園の積極的な活用策、学童保育の整備についての考えは。

増加の傾向である。保育所入所希望者は一定増加する。保育所の整備については、みみづく保育園が平成26年3月に移転新築され、27年4月には三山木保育所の移転新築を進めている。4月には待機児童を出さないことを最低限として、年度途中のサービスについても工夫、創設してきている。

も視野に対応を検討したい。将来予想される南海地震の発生や、原発事故の被災者受け入れが課題となっている。東日本大震災では、岩手県遠野市などが後方支援拠点として大きな役割を果たした。大阪湾沿岸地域が被災した際に、本市が後方支援拠点の役

割を果たすよう整備すべきである。また、災害時相互応援協定を新たに締結する考えは。

平成26年度の学童保育の入所見込みについて、3つの学級が、定員を超えている。その上、6年生まで受け入れるとなれば、足りないのではないかと。特に、桃園小学校児童会の大規模化の解消、三山木小学校児童会の仮施設は、早期に改善が必要だ。

主任指導員の複数体制も検討課題とする。

今年1名の正規職員を採用することとして、現在募集している。

早期に着手できるように、事務を進めている。

### 年度途中の保育所待機は

## 平成25年度で100人を超す

増富理津子 議員 (共産党)



保育の様子(市内保育所)

と「通所介護」を保険制度から外し、NPOやボランティアに任せるとしているが、市がこれに代わる事業を行えるのか。サービスの切捨てをしないよう国に求めるべき。

政府は、介護支援1と2の方に対する訪問介護15~8人の内、訪問介護は1

70人、通所介護は146人が利用。現在のところ、市内で代わりとなるNPOやボランティア団体はない。

年度途中の待機は、平成25年度で100人を超えた。

子どもたちが身近に利用でき、安心して遊べる場所の確保は重要な課題。

子どもたちが身近に利用できる場所の確保は重要な課題。

子どもたちが身近に利用できる場所の確保は重要な課題。

子どもたちが身近に利用できる場所の確保は重要な課題。

### 学童保育施設の改善を

水野恭子 議員 (共産党)

平成26年度の学童保育の入所見込みについて、3つの学級が、定員を超えている。その上、6年生まで受け入れるとなれば、足りないのではないかと。特に、桃園小学校児童会の大規模化の解消、三山木小学校児童会の仮施設は、早期に改善が必要だ。

主任指導員の複数体制も検討課題とする。

今年1名の正規職員を採用することとして、現在募集している。

早期に着手できるように、事務を進めている。

### での英語教育方針は

## モデル校指定し取組む

奥西伊佐男 議員 (一新会)

グローバル化を見据え、政府は学生指導要領の改正で英語教育の低学年への移行、授業時間数の増加や特区設置等の改正に乗り出すが、本市



「京田辺市の教育」の冊子(平成25年度版)

ではどのように望むのか教育方針を問う。

モデル校の指定を行い、小中連携を視野に入れ、英語力向上に向けた研究に先進的に取り組む、成果を各学校に普及させていく。

各学校で既に着手している。契約上は11月14日工事完了としているが、労務単価の値上げ等、他の課題も克服し、一日も早く試運転を進めていく。



施設の設備改善が求められる留守家庭児童会(桃園小学校)